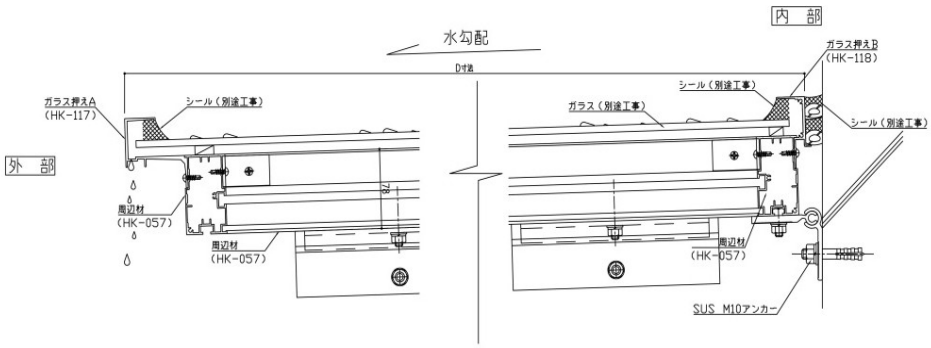
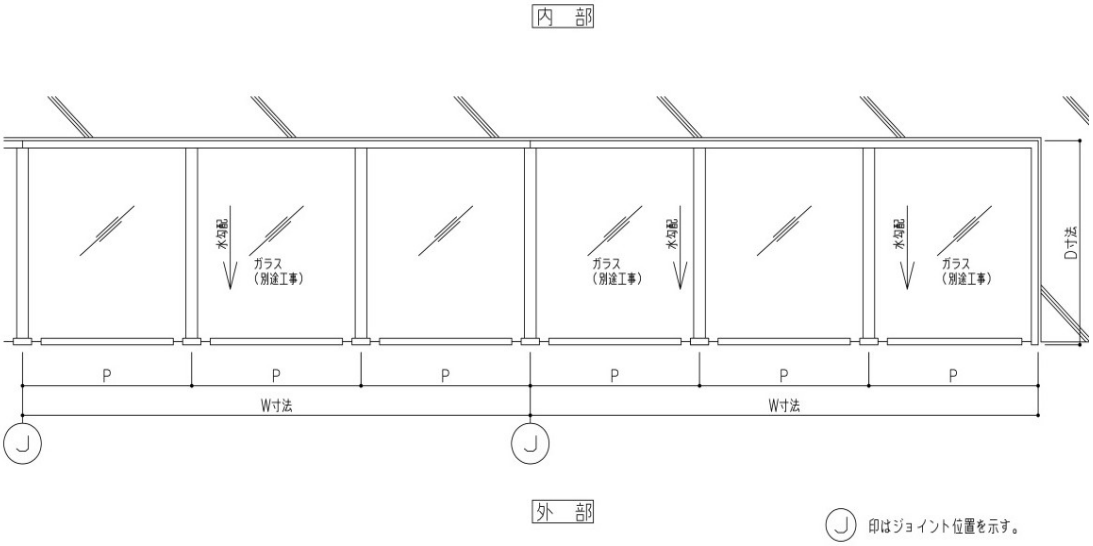
アルミ枠ガラス庇
施工手順書

アークライト

アルミ枠ガラス庇「アークライト」は2001年に国内初の
採光用ガラス屋根として白水興産㈱が特許を取得。
25年以上に渡る採用実績から信頼を得られた製品です。
©2001hakusuikousan company All rights reserved.

Ver2.2023.10





白水興産株式会社

アルミ枠庇の一般的な留意点

アルミ枠庇は屋根ではありません。作業中も完成後も上に乗らないでください。

取付・清掃の作業は高所等の危険な場所での作業となります。

安全を確保したうえで作業をおこなってください。

施工時の注意点－墨出し編

施工図により以下の要領にて墨出しを行ってください。

墨出しは片側から寸法を追って吊り元側の墨出し線は水平にしてください。

※床に不陸が有る場合左右両側で高さの墨出しを行うと仕上がりが水平にならない場合があります。

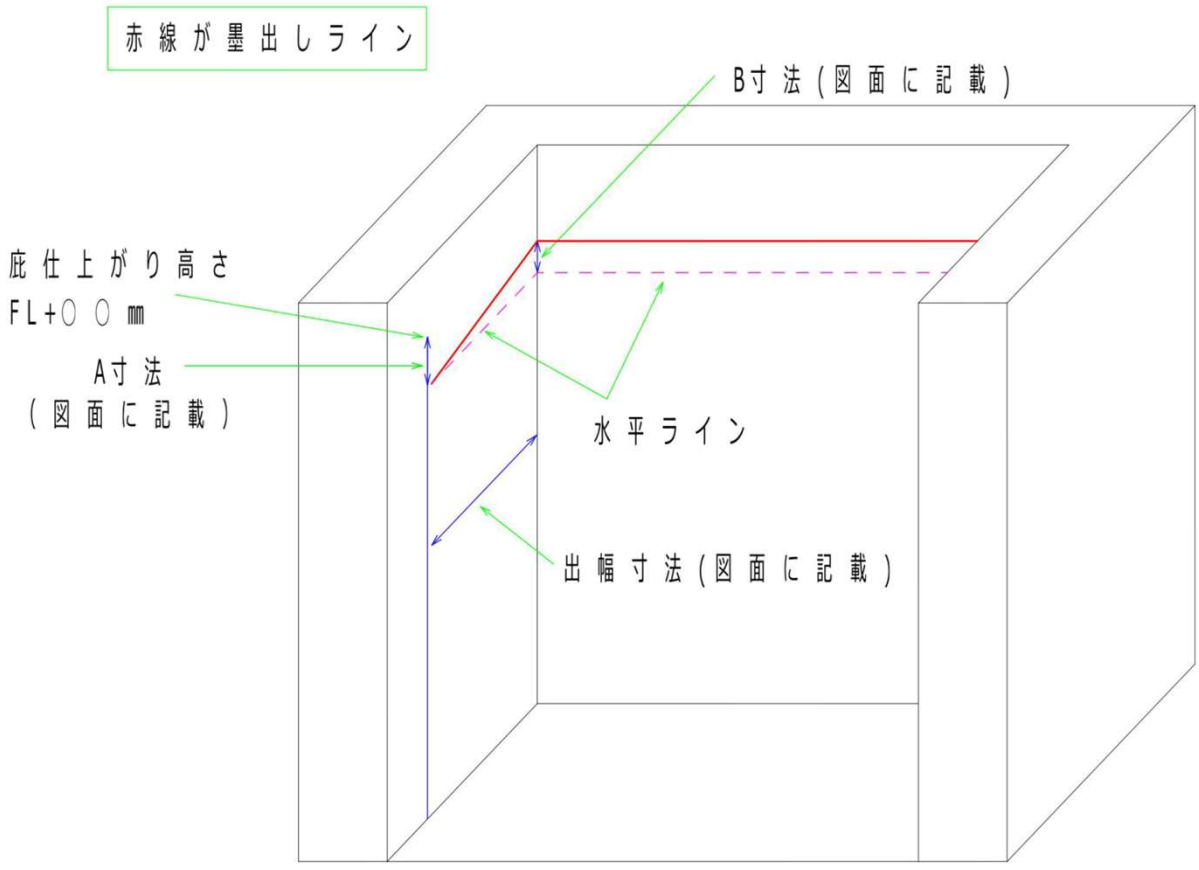


図1

図面にてA寸法・B寸法・出幅寸法を確認
庇の仕上がり高さから各寸法を当たり墨出しする。

施工時の注意点－マーキング手順編

前ページで出したブラケット取り付け位置にHBK-209の下端を合わせて穴あけ位置をマーキングしてください。

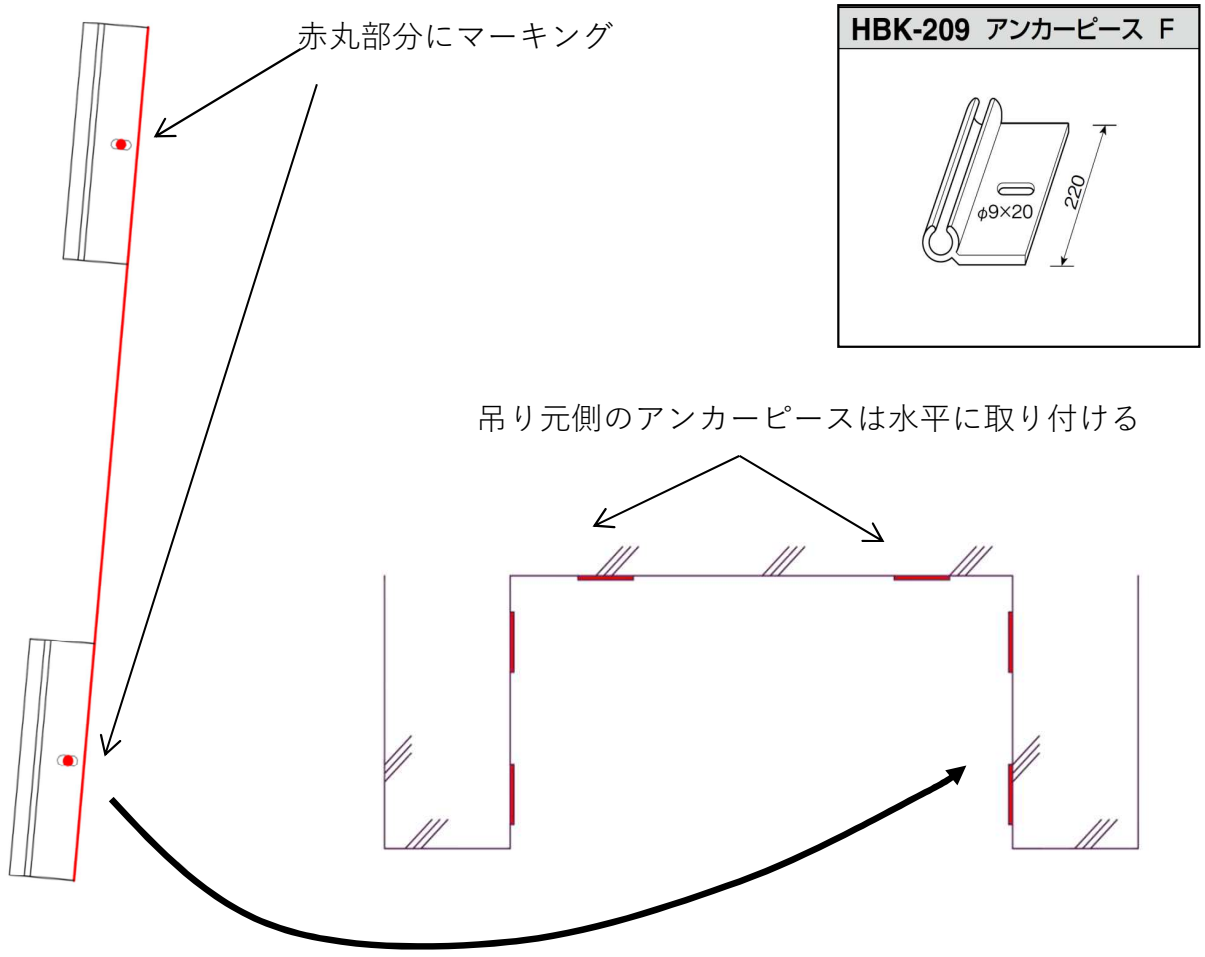


図2-1

穿孔穴の清掃

取付用穴の穴あけが終わったら下図の要領で清掃してください。

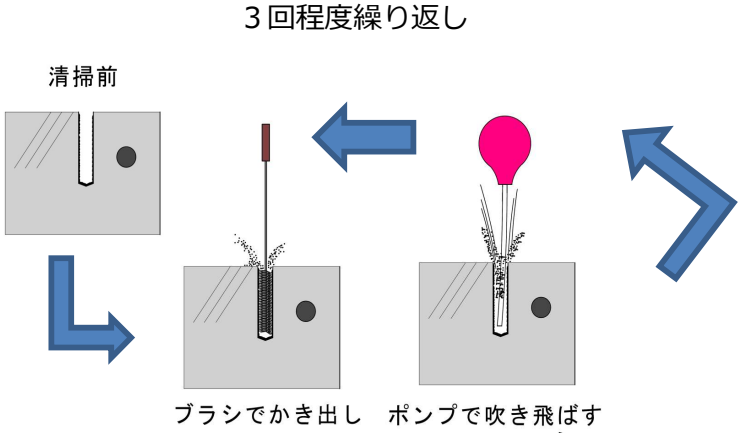


図2-2

施工時の注意点－アンカーピース編

アンカーピース（HBK-209）の設置

穴あけと清掃が完了したらアンカーピースをオールアンカーで壁面に設置します。

両袖側は墨出し線に合わせて仮締め、吊り元側は水平を確認しながら墨出し線に合わせて固定してください。(仮固定　図3-2参照)

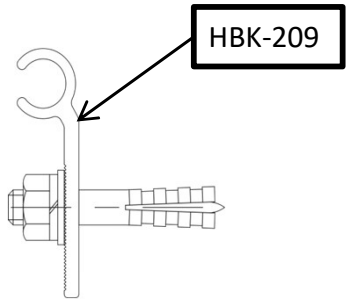


図3-1

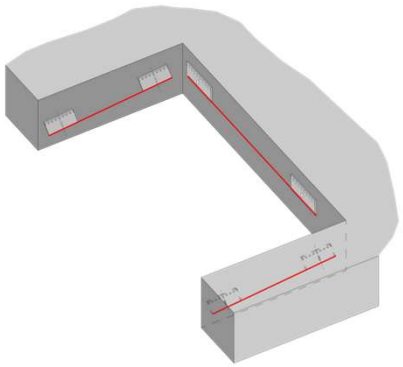


図3-2

アンカーピース（HBK-208）の取付

前項目にて取り付けたHBK-209にHBK-208を右図のように仮設置（図3-5参照）してください。HBK-208は逆向きにする場合もあります。（図3-6参照）

全箇所に仮設置が終了したらアルミ枠本体を仮置きし、吊り元側からボルトを仮固定してください。(図は簡易的なものです)

レベルを見ながらオールアンカーとブラケットと本体取付用ボルトを本締めします。

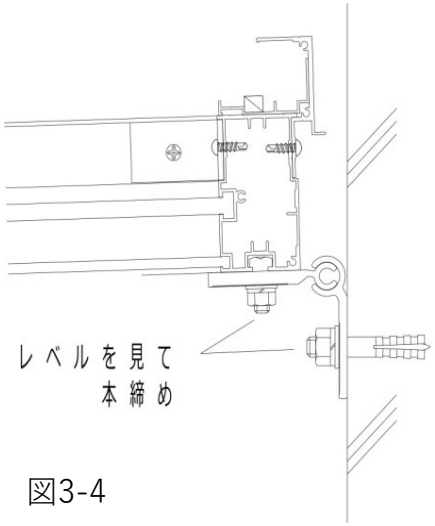


図3-4

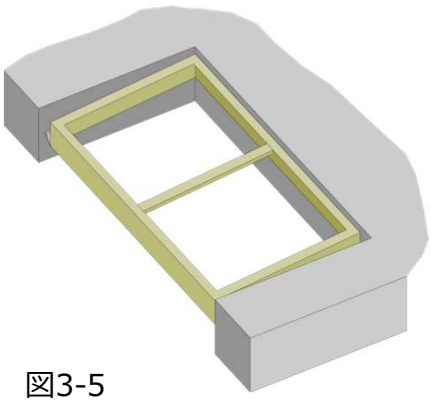


図3-5

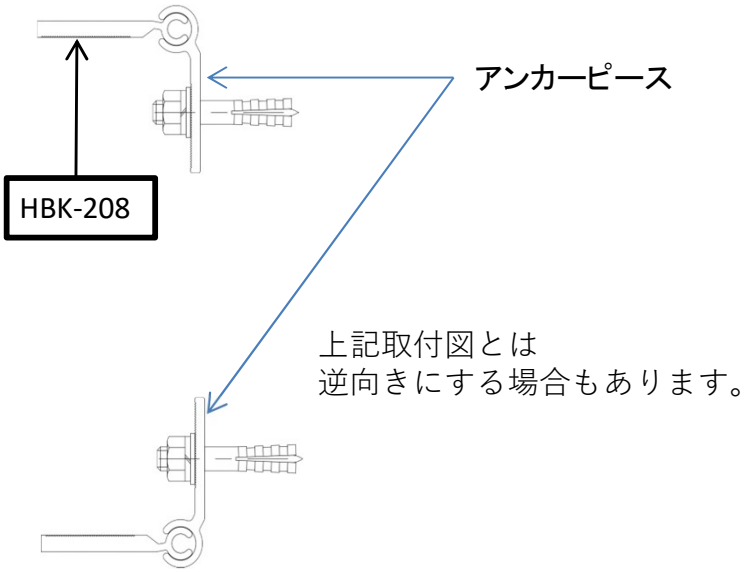
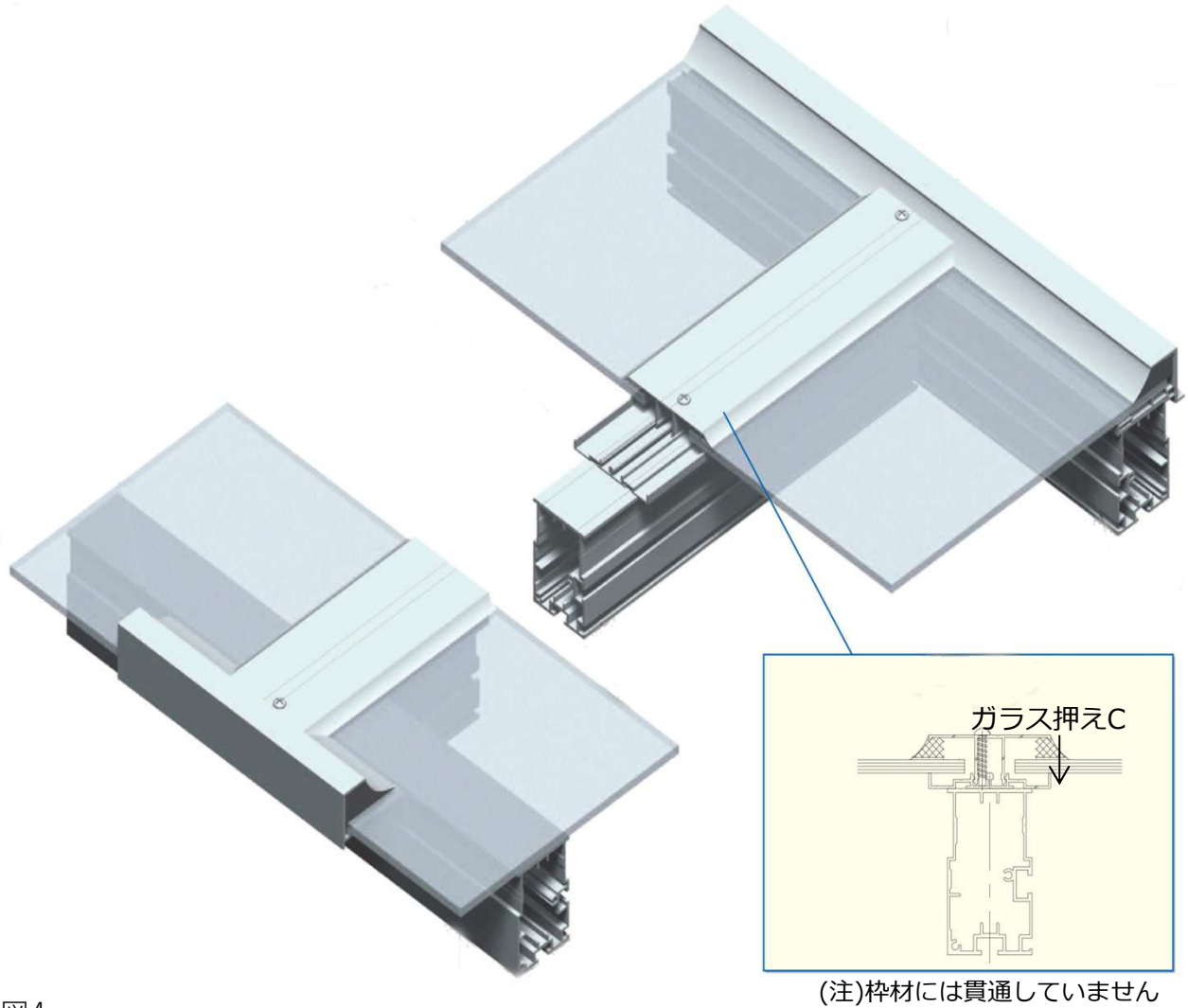


図3-6

施工時の注意点－ガラス設置編

ガラス設置後に【ガラス押えC】を取り付けます。
※必ずねじで固定して下さい、ねじ無しの場合強風時ガラスが外れる場合があります。
※ねじ頭にはシールをしてください。



(注)枠材には貫通していません

図4

ガラス押え設置後にP7.8.11に図解するシーリング指示図の要領でシールをおこなってください。

施工時の注意点－補強編

ガラス庇(アークライト)の取り付け高さや、桁方向が長いと補強が必要な場合があります。
補強方法は下記の3点です。

①ガラス庇が桁方向に連装で方立柱を立てる場合

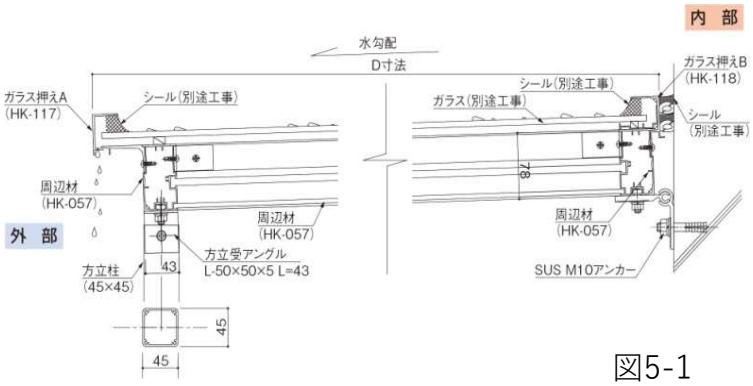


図5-1

※注意点
取り付け場所の条件により方立柱の数、位置が変わりますので別途ご相談ください。

②ガラス庇が桁方向に連装でH鋼を垂木方向に出す場合
(意匠的に方立柱を立てられない場合)

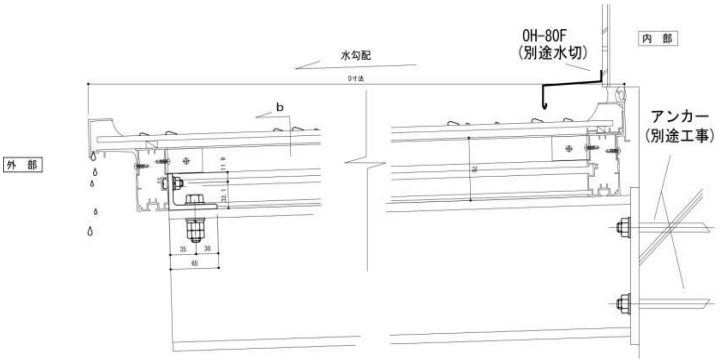


図5-2

※注意点
取り付け場所の条件により補強の位置及び大きさ(サイズ)や数量が変わりますので別途ご相談ください。
H鋼に固定する場合、ダブルナットなどの緩み止め対策をしてください。スプリングワッシャーは入れないでください。

施工時の注意点－補強編

③スチール・ステンレス等の各パイプを桁方向に補強で通す場合

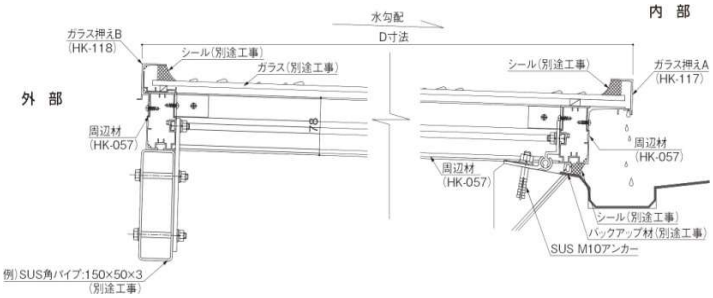


図5-3

※注意点
下図のように補強材の両端を躯体に固定してください。
取り付け場所の条件により補強の位置及び大きさ(サイズ)や数量が変わりますので
別途ご相談ください

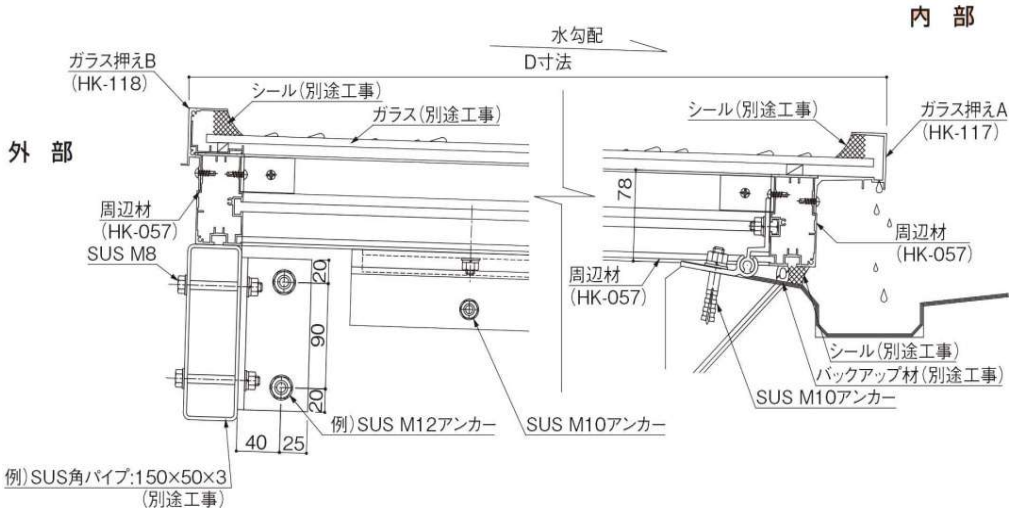


図5-4

(注)設置場所によりサイズなどの変更が生じる場合があります。

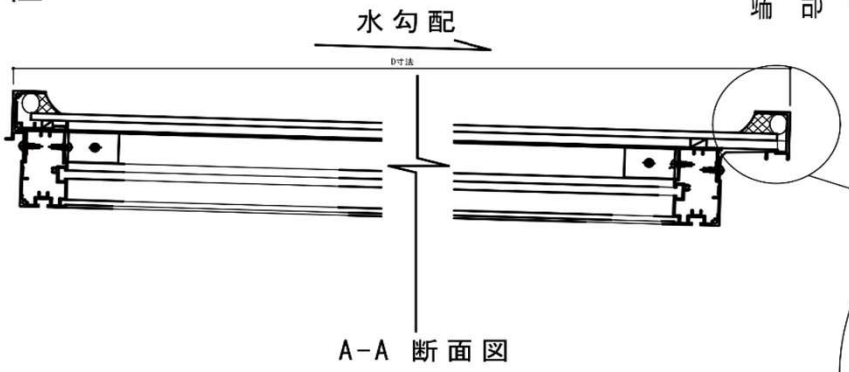
白水興産株式会社

アークライト

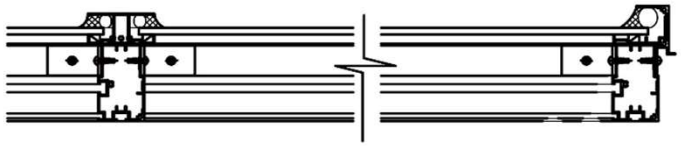
シーリング指示図

アルミ枠+ガラス

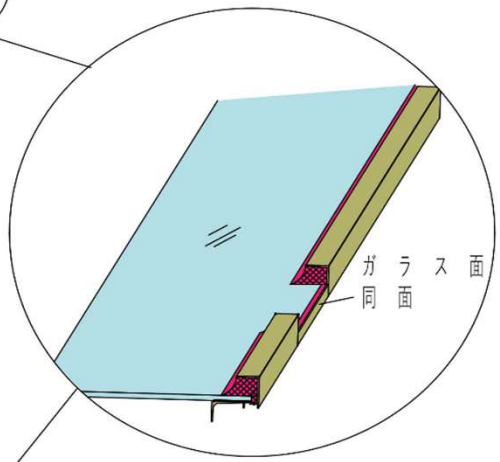
端部の処理は図のように行う事



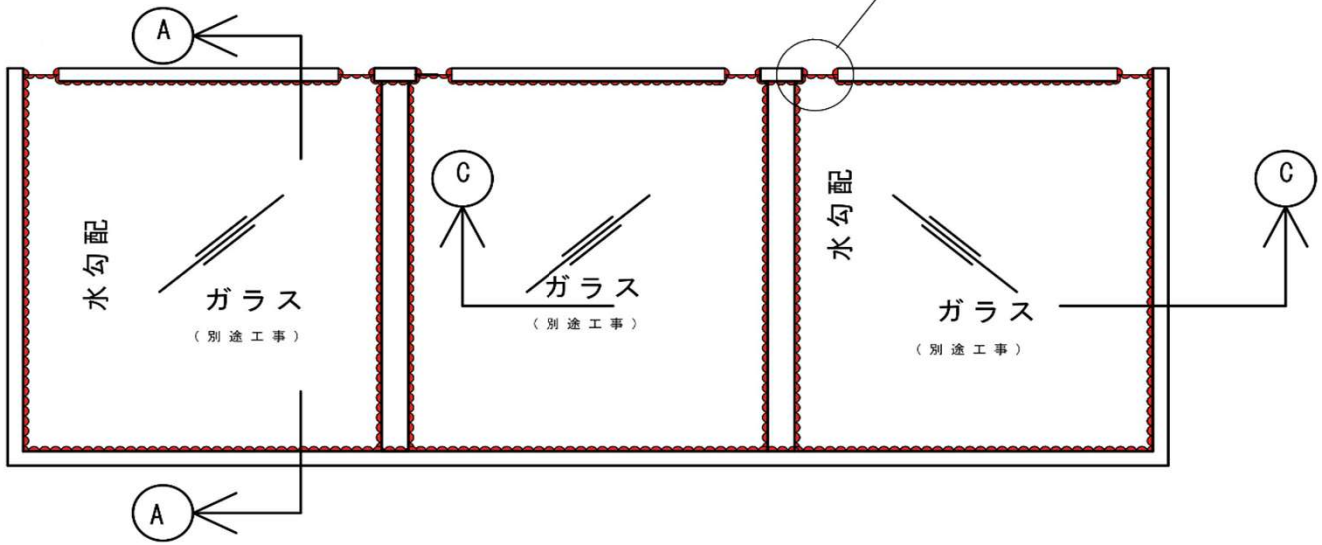
A-A 断面図



C-C 断面図

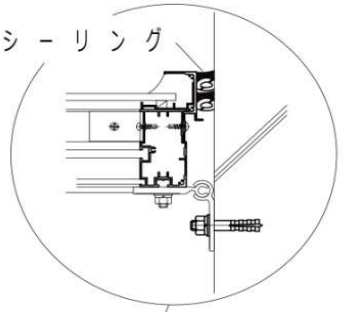


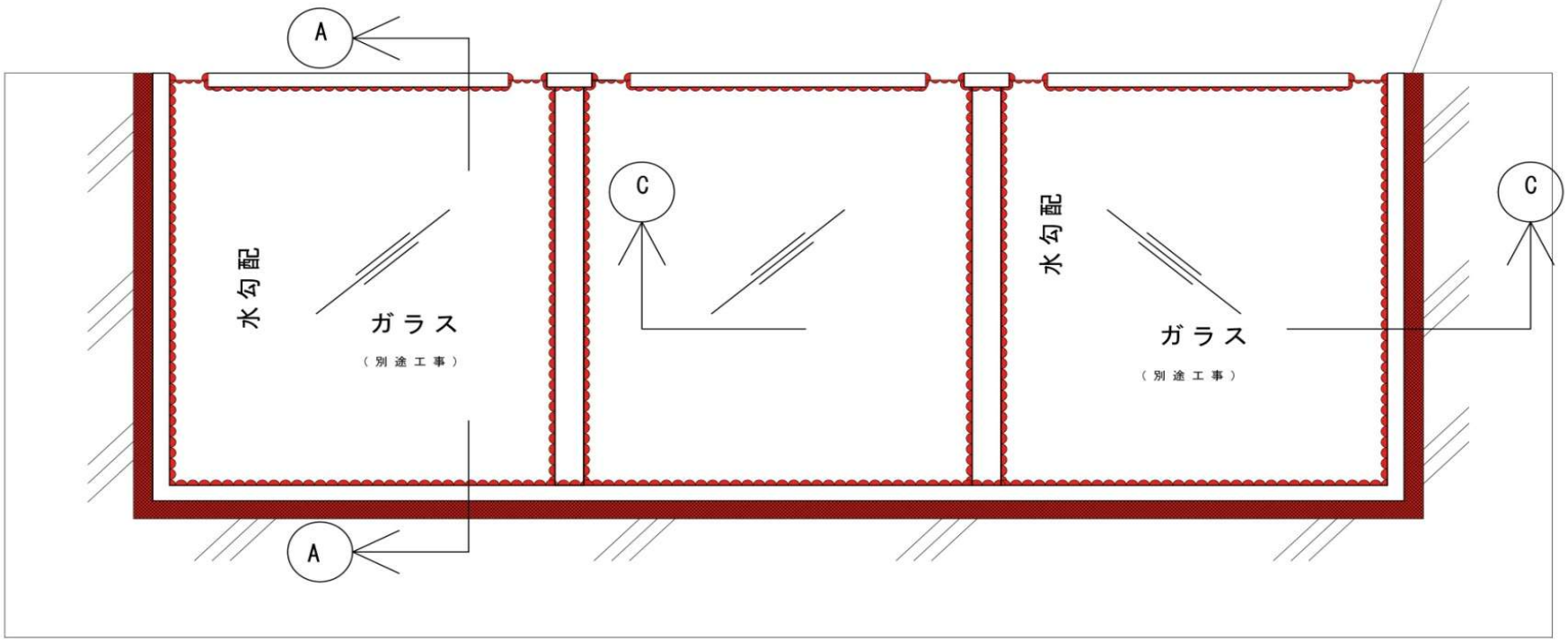
シーリングは右平面図の
波線箇所全てに行う事



白水興産株式会社
アークライト
シーリング指示図
躯体+アルミ枠

端部の処理は図のように行う事





施工時の注意点－天端載せタイプ編

天端載せタイプの躯体は下記の2通りの場合があります

①勾配ありの場合

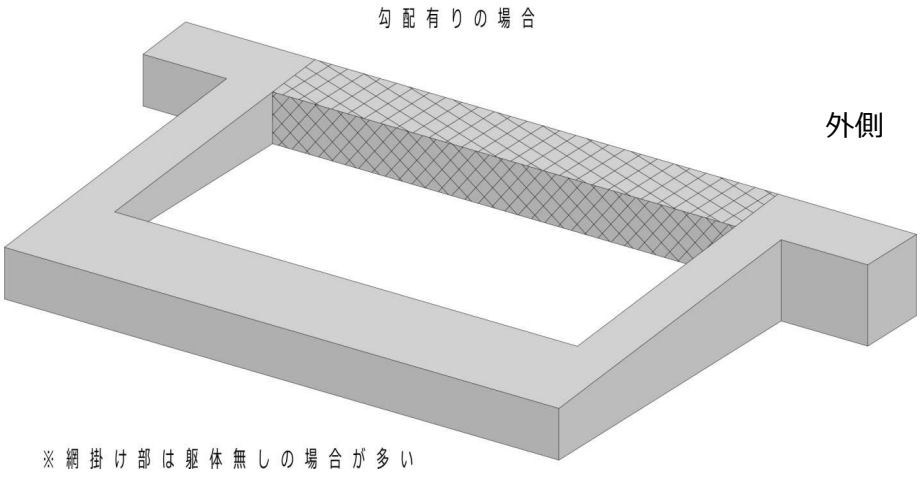


図6-1

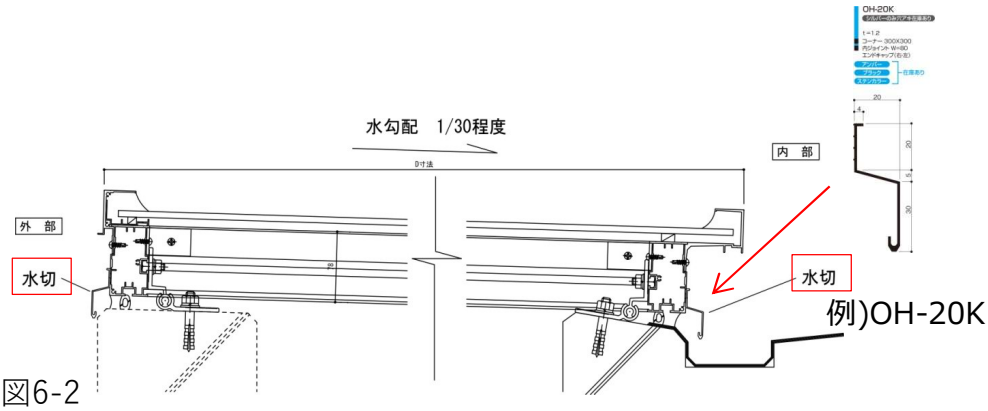


図6-2

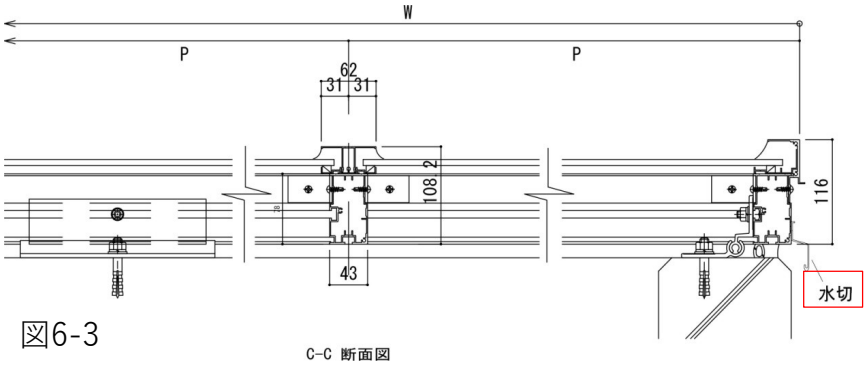
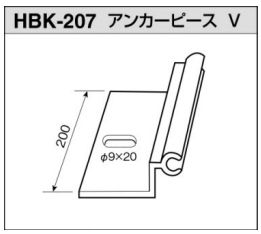
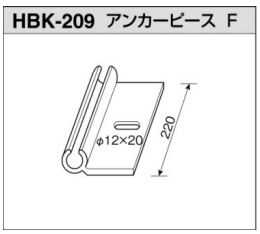


図6-3

取り付け用ブラケットHBK-207とHBK-209の組み合わせとなります。
(ビス固定の必要はありません)





水切　部に水切を取り付けると
シール材の保護に有効です。

施工時の注意点－天端載せタイプ編

②勾配なしの場合

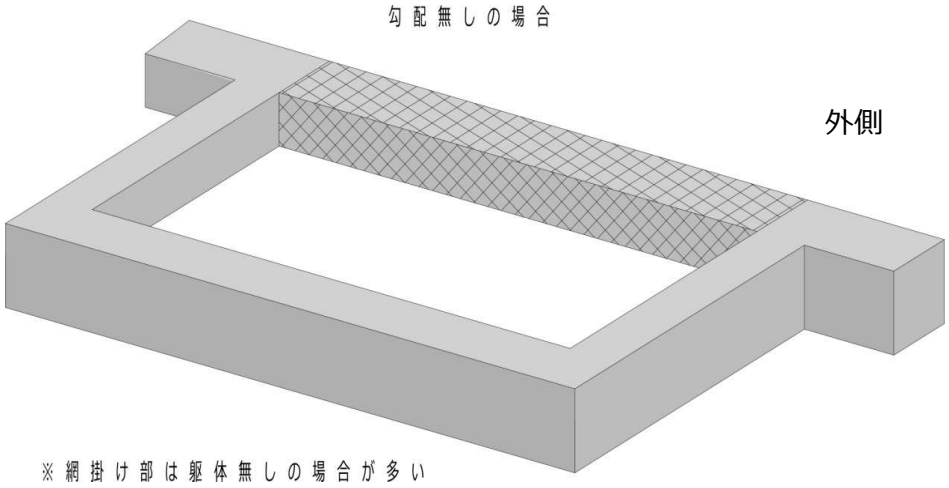
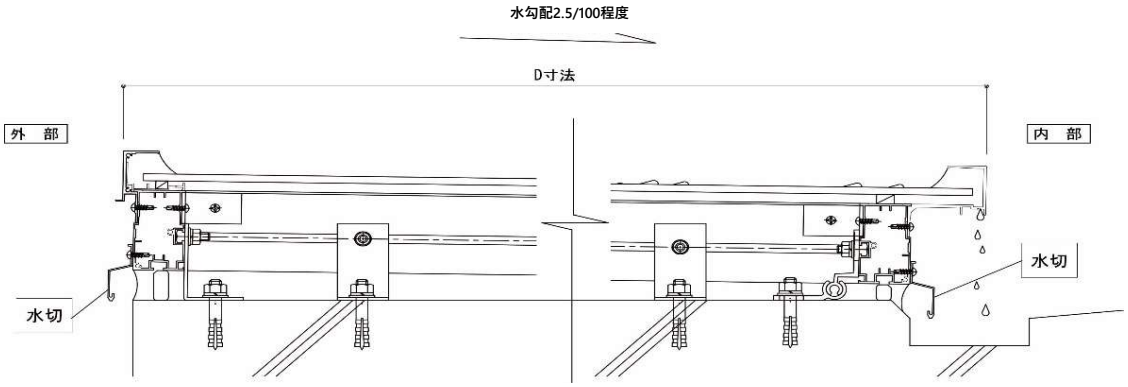


図6-4

パラペット天端に①のような勾配がない場合下地取付用ブラケットで勾配を取る様になります。その場合HBK-207とHBK-209の組合せでは無理な場合が多く下図のようにアルミアングルピースを固定ブラケットとします。その場合シール幅が30mm以上にならないよう注意が必要です。ガラス庇の勾配は2.5/100程度となる場合が多いです。

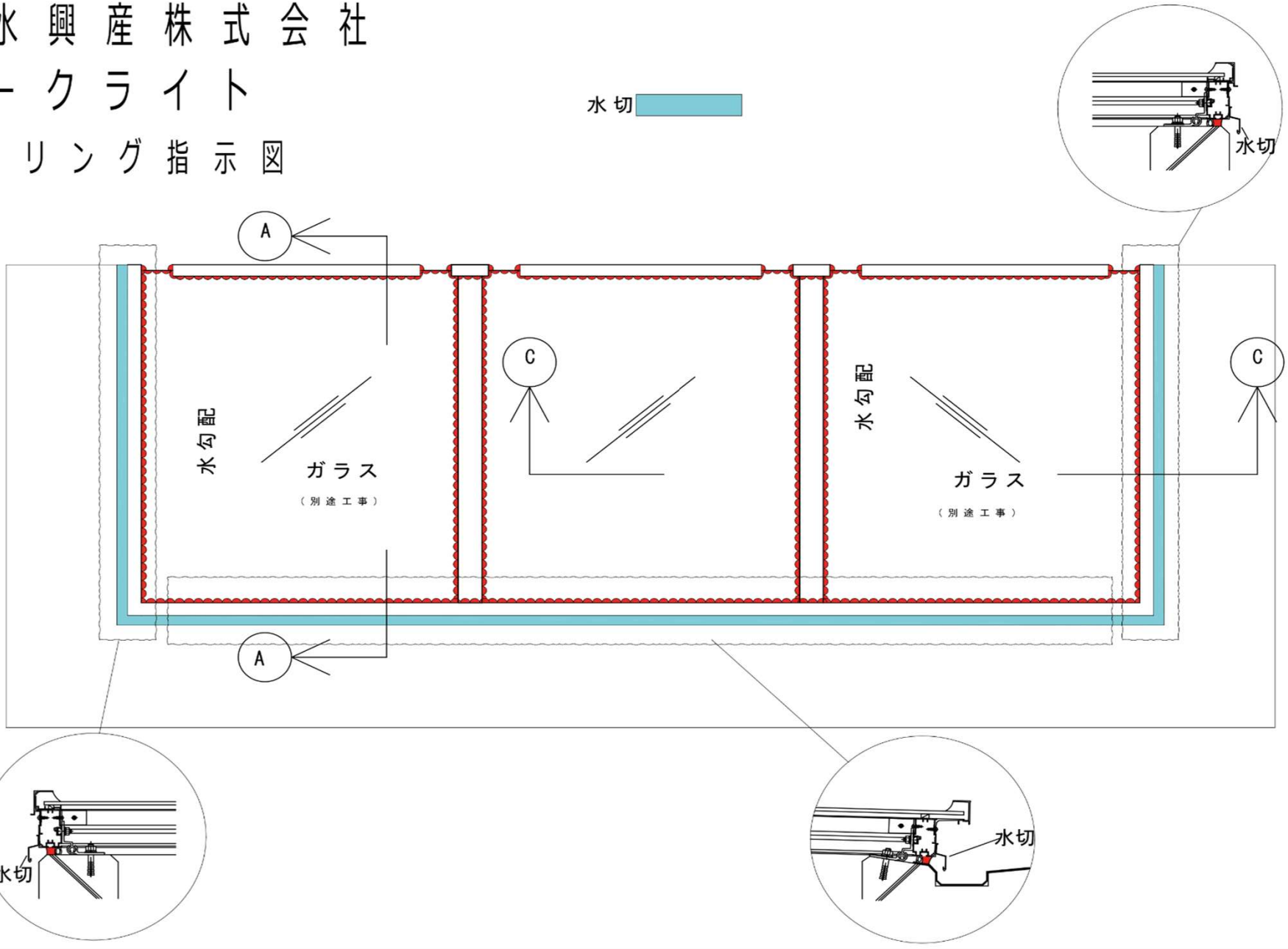


水切 部に水切を取り付けるとシール材の保護に有効です。

図6-5

外側

白水興産株式会社
アークライト
シーリング指示図



施工時の注意点－枠のジョイントタイプ編

枠ジョイントの場合は下図による止水処理をおこなってください。
※必ずシール材を塗布してください。

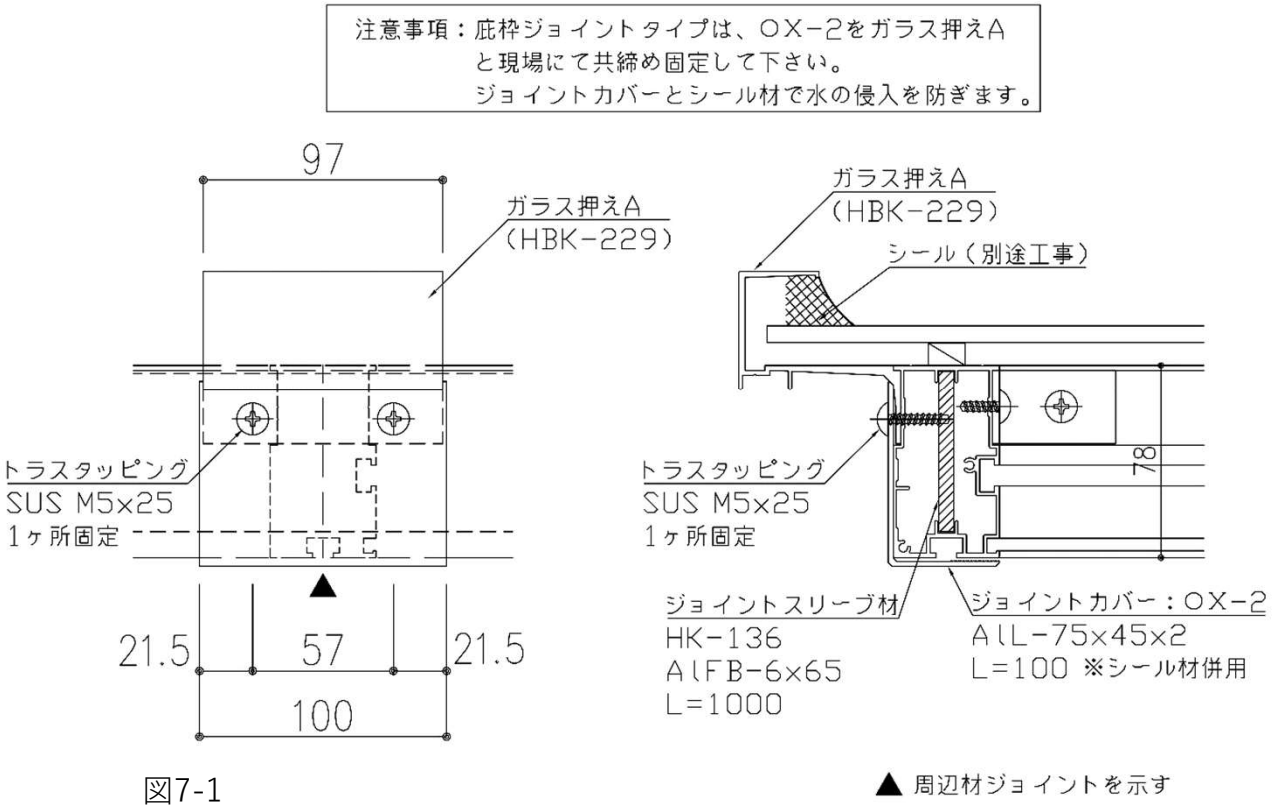


図7-1

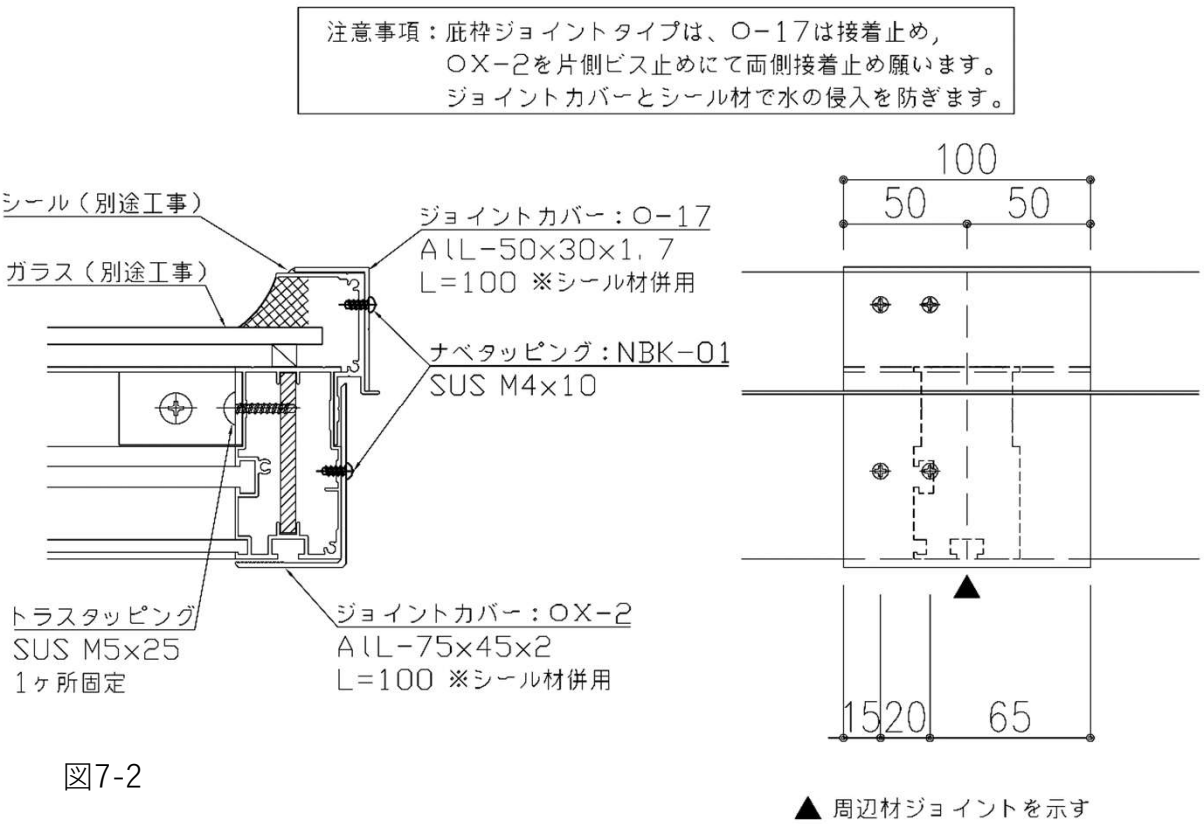


図7-2